

いずみざき

議会だより No.37

平成30年8月1日発行



輝く未来を
子ども達へ



いずみちゃん

目次

2～3ページ…………… 6月議会定例会の内容は？

4～8ページ…………… 5名の議員が村政を問う！

9～10ページ…………… 議会インフォメーション・編集後記

(表紙：泉崎第二小学校)

報告 会期 6月7日(木)～6月15日(金)



6月7日(木)～15日(金)までの9日間の日程で平成30年第2回泉崎村議会定例会を開催しました。

報告2件、議案7件、発議2件でした。

議会最終日、動議により議員報酬削減案が議員発議され将来の村づくりを三役と共に歩調を合わせ行っていくために議員報酬の削減案が全員賛成で可決されました。※詳細下
一般質問では、5名の議員が村政を問いました。

主な歳入

- 社会資本整備国庫補助金 450万円
- 除染対策事業費県交付金 331万2千円



元気キッズサポーター派遣事業
補助金198万円

主な歳出

- さつき公園長寿命化整備事業 900万円

駐車場整備工事費 1,112万4千円
店舗増築工事費 1,782万円



一般会計補正予算

Qもとやなぎ跡地の工事。店舗のできる見込みは？

A真剣に考えたいという話を頂いた。

Q水道事業会計補助の935万円は？

A踏瀬町中線の町尻自動車修理工場前の村道拡幅に伴い水管橋の移設を行うため、一般会計から水道事業会計に補助金として支出

Q谷地久保農集落排水管布設工事？

Aいずみ団地跡地に分譲地として住宅用地を造成するため



踏瀬・町中線拡幅

◎特別会計補正予算

- ・国民健康保険 予算総額を7億3,589万4千円とする
- ・介護保険 予算総額を5億5,612万3千円とする(人事異動による人件費等)

◎水道事業会計

資本的収入で建設改良費他会計補助金933万4千円増額、資本的収入総額を933万9千円とする
資本的支出で配水施設改良工事請負費933万5千円を増額、資本的支出総額を1億1,560万8千円とする

発議4号提出!

議員報酬を5%削減! (平成30年7月1日～平成31年3月31日まで)

中野目議員他3名の議員より議員報酬削減案が議員発議により提出され、「議案30号は、3月議会にも上程され、また6月にも提案されていることを考えると、村三役の並々ならぬ決意だと理解する。我々議員も立場は違っても村の将来、子ども達の為に執行者と一緒に村づくりを進めていくべきだと考え、村三役と歩調を合わせるべき」との提案理由の説明があり、審議の結果、原案可決となりました。

全員賛成!

平成30年第2回6月定例会

(／：議長は採決に加わりません)

議案番号	議案件名	議席 可・否	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
			飛知和良子	廣瀬英一	星一	中野目正治	小林勝衛	田崎能信	岡部英夫	白石正雄	鈴木清美	鈴木盛利
報告第1号	平成29年度泉崎村繰越明許費繰越計算書	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
報告第2号	平成29年度白河地方土地開発公社の経営状況に係る書類提出の件	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第30号	村長等の諸給与及び費用弁償額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第31号	泉崎村税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第32号	泉崎村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第33号	平成30年度泉崎村一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第34号	平成30年度泉崎村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第35号	平成30年度泉崎村介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第36号	平成30年度泉崎村水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
発議第3号	被災児童生徒就学支援等事業の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
発議第4号	議会議員の議員報酬期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／

【報告第1号】平成29年度泉崎村繰越明許費繰越計算書

報 告

平成29年度において繰越明許を設定した次の3事業について繰越計算書を報告する。

- ・村道新田蕪内線歩道整備事業
- ・村道踏瀬町中線道路拡幅事業
- ・道路等側溝堆積物撤去処理支援事業

【報告第2号】平成29年度白河地方土地開発公社の経営状況に係る書類提出の件

Q財産目録内の事業未収内容は？ A西郷3事業、矢吹1事業。公有用地で矢吹1事業

西郷の中学校の拡張用用地取得、工場用地の用地取得、西郷村道路用地取得で3件。

矢吹町は矢吹町総合運動公園の用地取得で1件。また公有用地は矢吹町一本木29号線の道路用地取得1件

条例改正

【議案第30号】村長等の諸給与及び費用弁償額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例

厳しい財政事情を考慮し、平成30年7月1日から平成31年3月31日まで、給与月額を村長15%、副村長、教育長5%を削減

【議案第31号】泉崎村税条例の一部を改正する条例

法律等の一部改正に準じて泉崎村税条例を改正

【議案第32号】泉崎村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

平成30年度から福島県を財政運営の責任主体となり、これまでの4方式から資産割を賦課しない3方式へ見直す

いずみキッチン
について

鈴木 いずみキッチンは、防犯上も素晴らしいオープンと大変喜んでおりましたが、1年契約で運営されたが、実際は何月で営業を辞めたのか。

事業課長 昨年6月24日にオープンし営業を開始し、使用者から本年2月に契約期間満了に解除したいと申し出があり、2月中旬に営業を中止しました。

鈴木 職員さんも協力体制をとっていたと思いますが、経営的アドバイスが足りなかったのでは。冬の間はどうしても客が少ないので、経営者からの相談があったか。

事業課長 収益が想定を下回り経営者として継続して



鈴木 清美 議員

いくのが困難である。閉店に向け、収益以外の具体的な理由と明確な発言はありませんでした。

鈴木 困難だというのは一番はやる気力をなくした、今後は金銭的よりも親身になって相談ののってあげてください。

事業課長 本年4月18日から5月31日で公募の内容ですが契約の日から3年間貸付料は月額2万円、保証金とし150万円。満了後に返還する。5月31日現在応募が無かった事から継続して募集を行い早期に営業が再開出来るように努力して参りたい。

鈴木 家賃の2万円は魅力ある数字です。保証金の150万円の担保に入れて運営しているのか。話し合いで保証金を下げる方法があるのか。お聞かせ下さい。

村長 役場が整備し民間運営がベターだと思いましたが1年間でしたが途中で撤退した事もある、契約の3年間、その間で色々努力

して継続して欲しいという意味合いがあったら150万円の保証金としました。3年間保証できる何か違う形の保証があれば真剣に考えていきたい。臨機応変もあるのかと思っております。

鈴木 冬、子ども達が夜帰る時に電気がついていると防犯上も大変に重要だと思っている。募集が無かったら泉崎観光での管理も一つの案として検討して考えてはどうか。

村長 (いずみキッチンは)大事な場所とっております。何らかの形でオープンして皆さんに、利用者側にとって非常に便利でありがたいと思われる場所に作り上げていければと思っております。

6次産業館について

鈴木 6次産業館オープンには多くの人が訪れ、式典がスムーズに行われて新聞にも報道され大きなイベントの一つだったと思います。

今後、何人のスタッフ、どの位の年間目標予算を持って運営していくのかお聞かせ下さい。

事業課長 店長他3名の職員、臨時雇用2名の年額1千200万円程と見込んでいます。その他経費を含め、支出に見合った歳入の見込みとなっております。

鈴木 今月、道の駅、直売所がどんな運営をしているのか見てきました。その中で飯館村の「まじい館」に行った時に菅野村長とお話する機会があり、飯館で6千人の人口に対して今住んでいるのが600人だそうです。

そこで野菜を作っても売れない、他町村の商品がないと成り立たないので、他県、他町村から協力を得ている。泉崎でも下條村、気仙沼、南会津、こぶしの里から協力を得て商品が置かれています。スタッフに他町村の商品が置かれるようになったのか経緯を説明できる商品知識の教育が必要ではないか。また、大きな看板とは言いませんがパンフレットとか考えてみてはどうか。

村長 商品の知識を説明できる事は本当に大事だと思っております。交流のある市町村等から力を借りながら特産品・加工品の開発をし

かりやっていききたい。埴輪のモニュメントを作ったかどうかと提言があり見積もり等を取っている段階です。

鈴木 出来れば素晴らしいと思っております。それには大きな金が掛かるので、その前に販売員の教育を少し手がけて下さい。

事業課長 直売所の生き残りをかけて有機農産物等の生産・販売についても今後手がけて行くことが重要と考えています。売上目標は高いがこれを目標に頑張っていければと考えております。

鈴木 生き残り、簡単に言いますが大変難しいですよ。1年間で併せて1億ちょっと15%、20%位の手数料で計算しますと、足りなくなるような気がしますよね。その辺を生き残りという風な力強い考えの中で、株式会社さつき里の人にしっかりと運営して進めていくしかありませんね。色んなことを言う人がいるんです。3年位赤字だっていんだ。3年赤字なら誰が負担するのか。その様な言葉の中で出ないような運営法をしっかりとやって欲しい。

国民健康保険負担

白石 今年から国保保険者が福島県となって、保険税算定数値の県内統一はどのように実施されるのか。また、算定数値を決定する村の権限はいつまで維持されるのか。

住民福祉課長 国保制度は日本の国民皆保険の基盤となる仕組みだが、年齢構成が高く所得水準が低い。保険料の負担が高い小規模保険者が多く、赤字保険者が多いという構造的課題を抱えていることから、今回の制度改革が行われた。本年度全県で4方式から3方式に算定方式を移行し、平成36年度までに医療費指数反映係数及び所得係数の統一を達成。その後保険税収納率の均質化を経て県統一保険税を実現する。



白石正雄 議員

税務グループ長 福島県は平成30年2月13日県知事通知で標準保険料率を示し、村として所得割について県の示したものを、均等割平等割は県の示した金額の100円未満を切り上げ条列として提出した。

白石 子供の均等割について軽減を検討すべきである。

中学校部活動のあり方

白石 3月19日スポーツ庁が「運動部活動のあり方に関する総合的なガイドライン」を出した。少子化に対する対応の仕方などについても示している。教育委員会としてどう具体化するのか。

学校グループ長 県教委はガイドラインやアクションプランを参考に、各教育委員会や中学校に活動骨子を作成しホームページで公表することを求めた。村教委として各小中学校に業務改善通知を发出、内容は平日週一日、土日週一日以上の休養日を設けること。練習時間は平日2時間、休日3時間とし遅くとも午後6時30分までに完全下校することとした。中学校では毎週

水曜日を一斉下校とし、夏季休業期では8月13日から15日までの3日間を閉庁日とした。

白石 部活指導員の任用と任用前、任用後の研修をどう実施するのか。

学校グループ長 教員免許取得者、日本体育協会の指導資格のあるものを選定していく。研修については県としても予算措置できないので今年度は行わない。

白石 少子化にとめない学校と地域が連携した部活を推進する方向が示されている。事故に対する保険など父母負担無しで提供する必要があるのではないか。

教育グループ長 学校管理下では日本スポーツ振興センターの学校保険に加入し、放課後、家庭、休日については県PTA安全互助会に加入している。スポーツ少年団などはスポーツ安全保険に団体加入している。地域と村が連動した場合、保険に該当するのかどうか今後検討する必要がある。

白石 小中学生が地域住民と一緒にスポーツをやる場合に適用される保険は、村

として研究し負担すべきである。

水田基盤整備

白石 水田の基盤整備や用水のパイプライン化が泉崎村は他町村と比べ遅れている。受益者負担無しで実施すべきではないか。

村長 矢吹ヶ原土地改良区でも施設が老朽化して限界にきている。パイプライン化など土地の所有者がその気になるのがポイントとされている。村単位の制度がなくなってきたので、最終期限かなと思う。農業者の意向を尊重し、受益者負担の部分が難しい。担当グループでしっかり研究して、県と連携して制度の活用を模索したい。

モニタリングポスト

白石 村内をガイガーカウンターで測定したところ、現在、除染した場所でも0.07から0.09マイクローシーベルトで推移している。除染していない山林などは0.1以上になっている。こうした現状を踏まえ、村として原子力規制委員会が示したモ

ニタリングポストの撤去方針にどう態度表明するのか。

建設グループ長 原子力規制庁による説明会の打診があった。村として開催を要望した。山林などの線量についても安全性が確認できるまでは、線量測定の継続は必要である。

JKA補助事業

※JKA：競輪とオートレースの振興法人

白石 補助支給要件と支給状況。支給申請を行うべきでないか。

生涯学習グループ長 先進事例を参考に情報収集に努めていく。

ゴミ戸別収集

白石 諸々の事情でゴミを集積場所まで搬出できない家庭について、村内の収集業者と契約し村の福祉事業として支援すべきでないか。

福祉グループ長 これまで近所の協力で解決してきた。福祉関係者と情報を共有しながら見守っていきたい。

基金・積立金
について

田崎 予算とか財政は行政にとっても大変重要な要素であり、難しい問題であろうかと思っております。私にとっては分からない事が多すぎると感じております。行政職の専門家の担当者諸君に教えていただく前提にして議論したいと思えます。

私にも村民にも分かりやすい説明、答弁をお願いします。

平成27年度の資料によれば、基金積立金は県内ワースト3の10億円強の残高であるとのことである。今後どの位の額を目指しているのか。その目標を伺いたい。



田崎 能信 議員

企画財政グループ長 色々な考え方があるかと思いますが本村において今後、想定される事業、あるいは財政状況も十分に踏まえ計画的な基金運営を図っていきたい。

田崎 県内ワースト3の資料の内容を私なりに一応分析してみた。歳入総額の比率で見ると本村は15.7%、西郷村は18.7%、矢吹町19%であり、そんなに大差は無い。ちなみに福島市、その比率は11.2%。郡山市は約18%であった。私は県の市町村財政課に問い合わせをし、どの位の比率が適当かを問いましたところ、それは各自自治体の判断であるとした上で概ね10%位との説明でありました。その後電話で10%位の説明は県としての判断でなく、識者、学識者の発言、意見だったと訂正されました。

これらを考えると10%位が適正であるだろうと思っ

ております。仮に10%が適正とすれば泉崎村に置き換えてみると4億から5億位で本村の適正基金積み立ての額となる。会津若松市11.4%で当局でもこの比率を堅持していきたいとしている。

この会津若松市の内容を踏まえていけば以前から私が提言している高齢者医療費の窓口負担無料化また、返済不要の給付型奨学金を支給することも不可能ではなくなる。国も来年度から本格的に給付型奨学金制度を導入するというにしている。それに加算する位の金額の予算措置はできるのではないかと思っている。給付型奨学金制度を村として検討してはどうか。

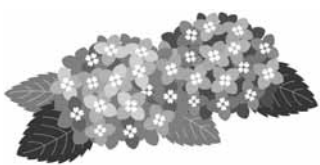
企画財政グループ長 今、議員ご指摘のその会津若松市はかなり大きな財政規模の自治体です。私どもの自治体については、会津若松市と比べると大分小さいと

いう事になりますが、先程の管内4団体あるいは西白河東西8団体の平均を申し上げました。管内見ますと20億とか30億というかたちです。割合も当然あるかと思いますが、そういった展開も見据えた形できちんと積み立てを行っていないかと単年度、単年度、財政がかなり厳しくなっていくという状況もございますので、その辺は十分自身の整理、精査しながら進めていきたい。

教育課長 泉崎村におきましては、現在育英基金を財源として、奨学資金を行っております。これは貸付型で行っております。大学生徒だと月額4万円、高等学校で2万円の貸し付けになっています。毎年募集を行っております。償還期間について今まで7年以内償還を10年以内の償還に延長しました。現在、状況ですが、国の貸付金と一緒に借りること

ができない関係があり、大学進学等を検討した時に一番有利なものを選択して利用している状況になっております。応募者は過去2、3年の状況で、1、2名程度の利用、貸付の状況になっております。議員さんからお話がありました給付型制度については、現在のところ、まだ教育委員会の方では検討していない状況になっておりますので、近隣の町村、また国の要綱等、状況等を確認して検討していきたいと思えます。

田崎 高齢者医療費の窓口負担無料化と給付型奨学金加算を次年度の予算編成に計上するよう要請しております。



給食センターについて

飛知和 給食センターの建物の老朽化が進み、今後の対策をお伺いしたい。かなりの年月が経過し、建物全体の老朽化が見受けられます。今回の議案にも修繕の予算があがっております。詳細に、現在の建物の状況をお聞かせ下さい。

学校教育グループ長 建物の状況については、43年間使用しており、老朽化が進んでおる。施設の維持修繕及び調理用機器の更新を行いながら、安全安心な給食提供に努めている。29年度には食器洗浄機の更新、又虫の室内進入を防ぐ為網戸の調整を行っている。



飛知和 良子 議員

30年度は、作業環境の改善として、トイレを洋式に替える為の工事費、調理用機器の更新として、ガス回転釜1台の予算を当初予算で頂いている。今6月議会補正予算として、給食センターの雨漏りを防止、屋根の補修工事、調理サッシ調工事の予算を計上致しました。

飛知和 建物の老朽化で一番心配なのが衛生の面から大変心配であります。

学校教育グループ長 調理場は、冷房設備がない為、夏場の調理作業には大変な負担をかけている。エアコンの設置には、エアコンの整備費の他に受電の為の電気設備も必要となり難しい。今後の検討については、施設の建て替えにつき、国庫補助金として学校給食施設整備事業があり、時期が来たら、補助事業を活用して整備を図る事と考えます。

飛知和 以前に村長は他町村との連携を図りたいと考えていると言っております。

たが、その後の経過とどのような対策を考えているのか。

教育課長 他町村との関連の関係は矢吹、中島、泉崎の3町村が給食施設が老朽化した事により、建築費の経費負担を軽減する為に広域的に検討、平成28年7月に検討委員会開始され、29年12月まで数回検討会を持ち、3町村の老朽化の状況等が異なる事から、検討会は取りやめました。

飛知和 補助事業の事も聞きましたが、一番心配なのは、古い建物でどの位もつか、耐久性の問題。財政面もあると思いますが早急に考えて頂きたい。

村長 給食センターは43年使用している状況でかなり老朽化しており、毎年維持修繕費にかかっている状況になっている。給食センターは非常に子ども達の健康に大事な施設であり優先順位は高いと思います。給食センターについては、基金の

積み増しをし、基金を作っていくという事は大事である。今後対応したい。具体的には事務方で補助金の面、財政の方もどういった資金捻出が出来るかという事も含めて一日も早く計画を立て、その目標に沿って、そういった資金作りをしていきたい。現段階では具体的にないという状況であります。

飛知和 村長の話聞き、具体的に無いということなので、2、3年はとても無理かと思うのですが、一日でも早くお願いしたい。一つ提案なのですが、リフォームしたら如何か。財政面も少なくて済むと思うが如何か。私は素人なのでわかりませんが早めにセンター施設を何とかして欲しいというのが私の願いであり、現場の願いなんです。

村長 少なくとも基金の積立をして、標準的な建物、施設は5億円位かかるという話も担当から聞いている。この辺を目標にして積立し

ていけば、あと1、2年と経っていくと、東口の開発が完成していくと思うので、その中でしっかりとお金の準備をしたい。少なくとも後世の皆さんが後輩たちが、こんな状態にしてどうするんだというような事は避けたい。うまくバランスを取りながらやるしか方法はないと思う。計画性をもって具体的に真剣に考えていきたい。

飛知和 一日も早くよろしく願います。



**3029年度補正予算分、
30年度各課担当事業について**

廣瀬 29年度の補正予算分及び繰り越し分、30年度各課担当事業において外部へ発注した事業について伺う。

総務グループ長 今年度行う全事業40件中、5月末現在の発注済みは12件、未発注は28件です。進捗状況は、100%6件、90%2件、80%1件、50%1件、10%2件です。

未発注28件の内、補助事業等の指令書待ち7件、学校等夏休みを行うもの6件、設計業務など5月末に完了した後発注するもの4件、関連事業終了後発注するもの4件、6月上旬発注した

もの2件、用地交渉中1件、事前協議・調査中2件、晩秋から冬期間の工事2件、その他2件です。

廣瀬 担当されている人達を見ますと、ベテランばかりで慣れた方が担当されていると見受けられます。工程表に則って迅速に仕事を勧めて頂きたい。

**泉崎村6次産業館
オーブンのに伴い、
一次、二次、三次産業
の育成について**

廣瀬 泉崎村の六次産業館のオーブンに伴い一次、二次、三次産業の育成について伺う。農業生産工程管理という Good Agricultural Practiceの3文字をとったGAPという言葉が有ります。JGAP、アジアGAP、グローバルGAPなどがあり、国、県が進めているのはJGAPです。GAPの内容ですが、例えば食品安全、環境汚染、人権保護、労働安全、農場経

営の管理などを謳っており、認定された農産物は安心して食べられます、安心して流通出来まますというような内容です。

日本は2年後にオリンピック・パラリンピックが有りますので、それが国際的に求められている状況です。世界中から人が集まりますが、それに提供する食糧調達が今問題になっていきます。

その中で泉崎村に六次産業館が出来たのですが、安心安心の担保をどの様にしていくかが重要です。何で担保するのかという事を的確な指標と言われているのがGAP制度です。

玉川村では、ビニールハウスと、燃料費の半分に補助金を出しています。冬場対策のためだそうです。村の農業生産者に補助金を出して、こういう作り方、このような制度が有りますと促していただければ、一つの育成になるのかなと考えられますので、村当局の考えをお聞きしたい。

産業グループ長 村内の一

次、二次、三次産業についてですが、「はにわの里」では、昨今の健康食品指向に対応するため、栽培時農業未使用野菜コーナーを設け、特色を出して販売しています。

一次産業における有機野菜・無農薬野菜等の認証取得に向けて、一層推進していく必要があると考えています。それから福島県では東京オリンピック、パラリンピックの食材調達基準が示されたことにより、GAPへの取り組みを福島県産の農林産物への信頼回復に有効な取り組みと位置づけ、GAP認証取得に係る経費について全額補助する事業を創設しました。本村においても取得誘導のためのPRに努めます。

二次産業については、「はにわの里」の加工場を有効に使いながら特色のある加工品を考案し、定着させていきます。

三次産業については、物産展等を開催しイベントを通じて集客を図り、泉崎村商工会とも連携し共に活性化

化が計れるように努めて参ります。

廣瀬 施策的なものを答弁頂きましたが、補助金制度について伺いたい。

村長 今、福島県でも全県上げて日本一のGAP取得県にしようという動きでやっています。健康寿命という事で、健康志向、安全安心でおいしいという方向に行くんだらうとの考えで、村では8千㎡位の畑を借りて、有機野菜の認証に向けて取り組んでいるところです。またビニールハウスへの補助について行政として検討し、GAP取得をしてもらう等で村内全体の農業の活性化を早く出さければと思っております。

廣瀬 GAPの意味合いは、食べる側、生産者側の安全管理でもあります。そのことを広く周知して行くことが大切です。補助を検討していくとの答弁が有りましたので、これで質問を終わります。



廣瀬 英一 議員

おめでとうございます!

- ★成績結果
- 【個人戦】
 優勝 窪木伸典さん
 準優勝 萩原不二郎さん
 3位 北澤洋一さん
- 【団体戦】
 優勝 八雲
 準優勝 関和久
 3位 瀬知房



八雲グラウンドにおいて、第22回議長杯グラウンドゴルフ大会が開催されました。

第22回議会議長杯
グラウンド
ゴルフ大会

5月15日(火)



郡山のビッグパレットにおいて、福島県町村議会議長会主催の広報研修会が開催されました。研修の内容は次の通りです。

―読まれる議会だよりの編集と表現ポイント―
 グラフィックデザイナー 長岡 光弘 氏

議会広報
研修会

5月23日(水)



議会一般質問終了後に、経済文教常任委員会に付託された請願書1件について審議いたしました。震災後においても、長期的な支援が必要となっている。今年度において引き続き要望を続ける必要があることから、採択といたしました。

常任委員会報告
経済文教常任委員会

6月12日(火)

◎議会に届いた請願書

件名	提出者	紹介議員
請願書第1号 国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める請願書	福島県教職員組合 中央執行委員長 角田 政志 氏	白石 正雄 議員

議会会議録、議会の映像を確認できます! ~村HP「村議会」から~

広報いずみざき

村議会

申請書ダウンロード

泉崎村公式 Facebook

便利なサービス Convenient Services

閲覧ランキング View Rankings

アクセス件数

- ・会議録
延べ件数 4,783件(月平均 59.8件)
- ・議会映像
延べ件数 5,092件(月平均 62.9件)



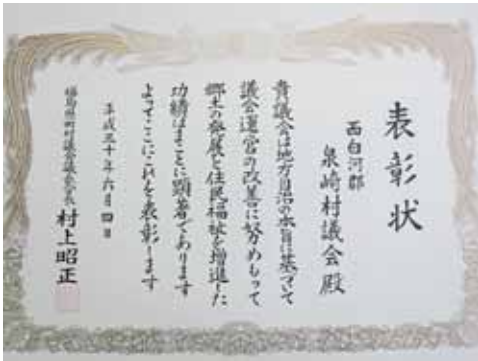
スマートフォンからも視聴可能

*** 次期定例会の予定 ***

開会 9月6日(木) / 一般質問 9月11日(火)の予定

**優良町村議会
表彰**

6月4日(月)福島県町村議会議長会定期総会が行われ、総会において泉崎村議会が優良町村議会として表彰されました。



農産物直売所

『はにわの里』オープン!

6月3日(日)農産物直売所「はにわの里」がオープンいたしました!
村内の農産物を加工、開発販売など6次産業化に取組み、村の農産物販売また村の情報発信や交流の拠点を目指します。

営業時間

午前9時～午後6時
泉崎村大字泉崎字山崎
30番地22



食堂写真



店内写真

編集後記

七月に入り、日本全国で猛暑日が続いています。そして熱中症の痛ましい事故も発生しております。毎年異常気象の指摘がありますが、これから数年はこの様な状態が続くと覚悟して対処すべきだと思います。

保育所、幼稚園、小学校、中学校においては、数年前にエアコンの設置が済んでおり子供たちへの健康管理意識は高まっています。

汗のかきにくい高齢者についてはどうでしょうか。家庭での声掛けが大事です。塩分を取る事と、お茶を多めに取ることを勧めてください。

夏に水分を取りすぎると夏バテを起すそうですが、その対処方法は、タンパク質とビタミンを豊富に取る事です。

熱中症対策、夏バテ対策、毎日の食事が大切です。各家庭の工夫でこの猛暑を乗り切ります。

編集・発行責任者
議長 鈴木 盛利

編集委員会
委員長 廣瀬 英一
副委員長 中野目正治
委員 田崎 能信
" " 白石 正雄

鈴木 盛利